

町政を問う！

一般質問



中河 つる子 議員 9ページ

- 1 ごみの減量化、資源化への取り組みを



佐藤 幸一 議員 10ページ

- 1 物価高騰で苦しむ町民生活の支援について
- 2 しみず温泉フロイデ看板の町有地不法占拠問題について



山下 清美 議員 11ページ

- 1 飼料高騰対策について
- 2 農作業人材不足の現状と農福連携の可能性について



高橋 政悦 議員 12ページ

- 1 第6期総合計画にある強みを活かしたまちづくりについて
- 2 本町のマイナンバーカード取得率と改正個人情報保護法について



川上 均 議員 13ページ

- 1 生活が困難な町民に対する新たな支援策の取り組み
- 2 民泊を活用した地域経済活性化の取り組み
- 3 高齢者等の通院にかかる交通費の導入



鈴木 孝寿 議員 14ページ

- 1 体育館建設に伴う今後の方向性について
- 2 わかりやすい政策の説明について
- 3 コロナ対応における福祉施設の支援について

9月定例会では、6人の議員が13項目にわたり一般質問を行いました。

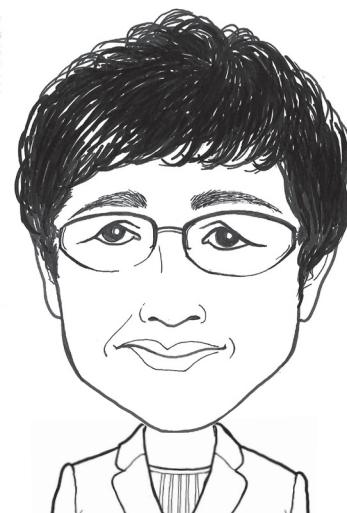
※ 1 議員最大3項目まで掲載、質問と答弁は要約し掲載しています。なお、一般質問の全文はホームページでご覧になれます。(9月定例会の内容は、12月末に掲載予定です)

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関(町長や行政委員会)にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。

ごみの減量化、資源化への取り組みを



中河 つる子 議員

町長

使い方の工夫など実践例を聞き、
町民周知を検討する

問

平成31年4月1日より、ごみ処理は、帯広市にある「くりりんセンター」で共同処理になった。広域になったために積極的にごみを減らそうという考えが弱まっているように感じる。我が町のごみは町民の問題と捉え、どのようにしたらごみを減らし、地域の暮らしやすい環境づくりに役立つか考える。昨年10月1日に本町のゼロカーボン宣言がされた。議会答弁で生ごみのコンポスト化、資源リサイクルの推進とある。

(1) 平成31年4月以降のごみの量の推移は。

(2) 燃やせるごみの減量化、その中の生ごみの減量が二酸化炭素の削減に役立つ。生ごみの減量にどのような取り組みをすすめているか。

(3) 衛生組合で行っているコンポストはどのくらい普及されているか。また、コンポストで生ごみの堆肥化は技術が必要。上手に使いこなしている人の実践例を聞き、町民に広めてはどうか。

(4) 家庭で出る草木の処理で、以前はひもで結んで出していたが、今は燃やせるごみの袋に入れて出す。二酸化炭素削減から堆肥化できないか。



コンポスト

町長

(1) 本町では、町民一人一日のごみ排出量はR元年度717グラム、R2年度735グラム、R3年度768グラムで、ほぼ横ばいで推移しており、町民一人一日R7年度680グラム、資源リサイクル率29・4%を目標として5Rを取り

組んでいる。

(2) (3) 生ごみ処理容器の購入助成を衛生組合で実施。R3年度13件を助成し、使い方の工夫など実践例を聞き町民周知を検討する。

(4) 草木の堆肥化は他町村の取り組み事例について今後、調査研究を進めたい。



帯広市にあるくりりんセンター